

第3学年 学年便り

飛 翔

仙台市立台原中学校

令和3年11月30日(火)

2学期の抱負 (3学年代表の言葉より)

私たち、3年生が卒業するまで残り5か月となりました。3年生の皆さんは残りの中学校生活、どう過ごしますか？私は次の二つの目標を定めました。

一つは、学業についてです。卒業の前にやってくる受験という大きな壁は3年生の皆さんをこれまで多く悩ませてきたのでは無いでしょうか。私自身、具体的に何の勉強をすればいいのか悩んだり、宿題を後回しにして最後の最後までため込んでしまうなど、勉強に対してうまくいかない場面が多々ありました。だからこそ今、この2学期という新しいスタートを機に、受験生としての自覚を持ち、気を引き締めて勉強に取り組んでいきたいと思います。また、継続する力を身につけることで、一つ一つの積み重ねが近い将来の自分に必ず生きてきます。積極的に学ぶ姿勢を身につけ、学んだことを「もの」にしていきましょう。

二つ目は、何事にも全力で楽しむことです。何でもネガティブなものごとを捉えるのではなくポジティブに、前向きに考えることで普段の何気ない生活にも小さな楽しさが生まれてくると思います。行事に関しても2学期には、来週には修学旅行、そして台中三大行事の一つである体育祭など、たくさんの行事が行われます。コロナ禍で様々な制限がある中、行事が開催できることに感謝し、残り少ない中学校生活、一日一日を大切に全力で楽しみたいと思います。

個人で、クラスで、学年で、そして学校全体で充実した2学期を作り上げていきましょう。

(3年4組 住谷 優奈さん)



修学旅行について

R3 修学旅行スローガン

『唯一無二』 ～青学年の底力～

(1) 実行委員長の「修学旅行の感想」

あっけなく終わった修学旅行と実行委員での活動ですが、「思い返せばいろいろなことがあったなあ」と感じています。今まで実行委員になったとき、その行事を完成していく行程はまるで「料理」みたいだなあと思ったりしていました。料理(行事)を作り上げていく労力や時間と比べて、みんながそれを味わったり、体験したりする時間はあっけなく過ぎていくものです。しかし、今回の修学旅行が自分たちの労力に見合わないものとなったということは全くないと感じています。妥協しなかったからこそ、その熱意がみんなに届いて、とても盛り上がったものになりました。その充実感が今も胸に残っています。ほとんどの学年行事が終わりを告げ、学年の一人一人が自分の進路に向かって力を注ぐ時期になっています。「受験は団体戦だ。」とよく聞きます。どうしても一人で乗り越えることが難しい受験において、身の回りの人からのサポートというのは必要になってきます。さらに、初めての受験となる多くの方は周りの様子を見て自分の行動に反映していくこともあると思います。だからこそ、周りの雰囲気というのは非常に重要であり、みんなが高め合うエネルギーが必要になっていくと思います。修学旅行で培ったあの団結力があれば絶対に大丈夫。全力で乗り越えていこう。

(2) 返金について

近畿日本ツーリスト東北より、返金については「年明け1月になります」とのことでした。詳細が決まりしだい文書にてお知らせします。

(裏面に12・1月の予定表があります)